

23区清掃工場 故障による休炉・停止など 平成29年度(工場別)

有明清掃工場 故障による休炉・停止なし

千歳清掃工場 <休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
10	1号炉	休炉	H29.4.3	8:30	H29.5.23	13:00	H29.6.29	15:39	H29.6.30	15:12	ごみホッパ水冷ジャケットからの水漏れが悪化したため、焼却炉を立ち下げる。そのまま中間点検に入る。
84	ごみクレーン		H29.3.25	1:20					H29.4.3	17:00	No.1ごみクレーン自動運転中、開閉電動機過電流によりサーマルトリップし、バケットの開閉ができなくなったため、使用を中止した。

江戸川清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
63	2号炉	休炉	H30.2.19	9:08	H30.2.22	10:00	H30.3.5	17:34	H30.3.6	13:41	減温塔入口ガス圧力が低下し、ボイラ伝熱管部(スクリーン管部)の閉塞が疑われるため焼却炉を立ち下げた。
50	2号炉	休炉	H29.12.28	3:21	H29.12.28	4:30	H30.1.27	13:00	H30.1.28	7:03	焼却炉運転中、炉内ガス圧力が急上昇した。それとほぼ同時にボイラドラムレベルが下降したためボイラ水管破孔を疑い、焼却炉を立ち下げた。
29	1号炉	休炉	H29.9.17	15:55	H29.9.17	16:04	H29.9.29	18:19	H29.9.30	13:28	クリカの落下を確認し経過観察していたが、シュート部が閉塞し主灰の排出ができなくなったため焼却炉を停止した。
21	2号炉	休炉	H29.7.17	4:00	H29.7.29	10:12	H29.8.1	16:02	H29.8.2	11:34	No.1蒸気式ガス再加熱器ドレンタンクレベル調節弁の二次側ドレン配管より漏れを確認した。経過観察していたが、蒸気漏れが悪化してきたため焼却炉を停止した。

墨田清掃工場 <休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
2	1号炉	休炉	H29.4.6	4:38	H29.4.6	10:00	H29.4.12	14:18	H29.4.13	15:41	No.1主灰ホッパシュートに灰が堆積し、解除できないため焼却炉を立ち下げた。

北清掃工場 <休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
33	1号炉	休炉	H29.10.6	6:40	H29.10.6	15:31	H29.10.26	23:00	H29.10.27	17:30	ボイラドラム水面計より蒸気漏れが発生したため、補修のため立ち下げた。 (途中、2度立ち上げを試みるが再度立ち下げ)
30	ごみクレーン	停止	H29.9.25	9:15					H29.10.16	17:00	1号ごみクレーン自動運転中開閉過負荷が発報し、バケットの開閉ができなくなったため、ごみクレーンを停止した。

23区清掃工場 故障による休炉・停止など 平成29年度(工場別)

北清掃工場

20	1号炉	停止	H29.7.26	5:11	H29.7.26	5:12	H29.7.26	6:26	H29.7.26	6:59	ラインオフダンパ減圧弁の不良によりバグ出口圧力が低下し、IDFが停止した。 作業年報では休炉扱い
19	TG	停止	H29.7.25	11:05	H29.7.25	11:19	H30.3.25	9:29	H30.3.25	13:19	「発電機 地絡」が発報し、蒸気タービン発電機が停止したので、調査のためタービンを立下げた。 (発電機故障で8ヶ月間発電停止)

新江東清掃工場 <休炉 2 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
55	3号炉	休炉	H30.1.12	22:12	H30.1.12	23:50	H30.1.22	18:38	H30.1.23	16:33	「3号炉No.1ボイラダストコンベヤ(L)故障」が発報し、警報リセット後に再度運転を試みましたが、起動できなかったため、焼却炉を立ち下げた。
52	ごみクレ	停止	H29.12.31	17:00					H30.1.8	17:45	ごみクレーン使用前点検時、No.3ごみクレーンバケットの8番油圧シリンダーオイルシールよりオイル漏れを発見し使用を中止した。
48	ごみクレ	停止	H29.12.17	22:25					H30.3.7	12:00	No.4ごみクレーン横走行電源ブレーカトリップ及び横行コンバータ故障が発報した。確認したところ、No.4ごみクレーン横走行電源盤の主電源ブレーカがトリップしていた。故障原因を調査するため、ごみクレーンを停止した。
15	2号炉	休炉	H29.7.16	8:30	H29.7.16	11:00	H29.7.31	19:32	H29.8.1	20:39	2号ボイラの給水量と蒸発量にかい離が発生した。調査のため立下げを行う。
11	ごみクレ	停止	H29.6.4	5:45					H29.6.6	16:00	No.3ごみクレーン巻上異常 異常上限が発報した。現場確認したところ、No.3ごみクレーンの安全ネットとワイヤーが絡んでおり、横行不能となっていた。(巻上異常は絡んだワイヤーが振動したことにより発報したと思われる)

港清掃工場 <休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
58	2号炉	休炉	H30.1.26	16:00	H30.1.27	14:00	H30.2.14	21:00	H30.2.15	10:38	2号焼却炉の灰コンベヤにて異音が確認された。底板などの調査をするため、焼却炉を立ち下げた。そのまま中間点検に入る。
9	ごみクレ	停止	H29.5.22	11:00					H29.7.17	13:00	3号ごみクレーン手動運転中に巻き上げ装置のインバータ異常によるトリップが生じたため、クレーンを停止した。
8	ごみクレ	停止	H29.5.21	11:38					H29.5.22	15:00	2号ごみクレーン自動運転中にケーブル・トルクモータ間の中間軸受ユニットの破損により、ケーブルリールがロックし、バケットの自重によりキャブタイヤケーブルが破損したため、クレーンを停止した。
7	ごみクレ	停止	H29.5.5	13:00					H29.5.10	16:00	1号ごみクレーン自動運転中にバケットの給電ケーブルが爪に咬み込み短絡したため、クレーンを停止した。

23区清掃工場 故障による休炉・停止など 平成29年度(工場別)

豊島清掃工場 < 休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
66	1号炉	休炉	H30.3.19	12:26	H30.3.19	12:26	H30.3.19	14:45	H30.3.19	20:12	1号誘引ファン入口ダンパ駆動用リンクピン(1本)折損。ピンの交換作業中、ダンパ開度が開きぎみとなり、「炉内圧力異常低(-3.0KPa)」に達しインターロックにより焼却炉非常停止となった。
65	2号炉	休炉	H30.3.19	3:49	H30.3.19	3:52	H30.4.11	16:18	H30.4.12	4:29	2号給じん機パドル運転電流値の変動に伴い、炉内監視用モニタ及び蒸気発生量の減少を確認し現場へ直行した。パドル運転状況の異変を判断し焼却炉を立ち下げた。
61	ごみクレ	停止	H30.2.14	22:50					H30.2.15	18:36	2号ごみクレーン手動運転中、油圧バケット用給電ケーブル切断により運転を緊急停止した。
57	ごみクレ	停止	H30.1.25	5:59					H30.2.9	13:50	2号ごみクレーン自動運転中、「巻上インバータ異常」警報発報したため、ごみクレーンを停止した。
47	1号炉	休炉	H29.12.13	16:00	H29.12.20	13:30	H29.12.21	14:21	H29.12.21	19:06	アンモニア水ポンプ圧力が上昇し流量が低下し、経過観察していたが、アンモニア供給装置の閉塞が疑われるため、焼却炉を立ち下げた。
43	ごみクレ	停止	H29.12.4	18:00					H29.12.5	8:30	点検時、油圧バケットの爪取付部の部材に損傷を確認したため、クレーンの使用を停止した。
42	ごみクレ	停止	H29.11.25	23:50					H29.11.27	18:40	自動運転中、バケットの開閉動作が不能となり点検したが、油量計で油量の確認ができないため、運転を停止した。
18	ごみクレ	停止	H29.7.24	14:00					H29.7.28	10:20	2号ごみクレーン走行用減速装置より異音発生。点検の結果、減速機出力端部のギアが駆動中がたつきがあり、車輪伝達ギアとの噛み合いが悪いことがわかり、クレーンの使用を停止した。
6	ごみクレ	停止	H29.4.23	16:00					H29.6.2	17:20	No.1クレーン自動運転中、焼却炉への投入回数が増加していることを確認した。調査したところ、閉動作にて全閉にならない状況であった。油圧系統の損傷が考えられるため、運転号機を切り替え、使用を停止した。

渋谷清掃工場 < 休炉 0 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
64	ごみクレ	停止	H30.3.16	9:50					H30.3.21	15:40	No.1ごみクレーンの主回路トリップ警報が発報した。調査したところ、ケーブルリール電動機の漏電を確認した。クレーンの巻上げが不能になり、ごみクレーンを停止した。
38	ごみクレ	停止	H29.10.23	3:11					H29.10.23	14:22	2号ごみクレーンにおいて、自動運転中ごみを掴んだ後、巻上動作時にバケット本体が巻き上がらないことを確認したため、2号ごみクレーンを停止した。

中央清掃工場 < 休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
46	ごみクレ	停止	H29.12.14	17:15					H29.12.16	12:00	2号ごみクレーン点検時、ワイヤロープ4本のうち、1本のストランドが破断していたため、使用禁止とした。

23区清掃工場 故障による休炉・停止など 平成29年度(工場別)

中央清掃工場

36	1号炉	休炉	H29.10.16	19:52	H29.10.17	0:45	H29.10.22	13:15	H29.10.23	13:42	ストーカ下コンベヤがトルク異常により停止した。現場にて正転及び逆転を実施したが動作不能となり、詰り解除のため焼却炉を立ち下げた。
14	2号炉	休炉	H29.7.1	20:18	H29.7.2	10:03	H29.7.3	17:27	H29.7.4	15:36	ボイラ灰搬出装置シュート部が灰の堆積により閉塞したため、2号炉を立ち下げた。
5	2号炉	休炉	H29.4.18	10:10	H29.4.18	11:50	H29.4.19	20:34	H29.4.20	14:17	1号タービン行蒸気止弁のグランド部から蒸気漏れが発生した。補修のため、発電設備を停止し、2号焼却炉を立ち下げた。

板橋清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
62	2号炉	休炉	H30.2.14	11:30	H30.2.16	13:30	H30.3.27	15:24	H30.3.28	10:00	輻射部ダストコンベヤ電動機側軸受等の補修後に当該箇所を継続的に(コンベヤの)点検していたところ、ダストコンベヤから灰が排出されていないことを発見したため、焼却炉を立ち下げた。
53	2号炉	休炉	H30.1.3	11:53	H30.1.3	16:56	H30.1.25	15:24	H30.1.26	11:12	輻射部ダストコンベヤの過トルクが発生。点検の結果、電動機側軸受の破損による飛灰搬送設備停止により焼却炉を立ち下げた。
34	1号炉	休炉	H29.9.22	15:00	H29.10.12	15:00	H29.10.20	15:30	H29.10.21	12:33	ごみホツパジャケットからの冷却水漏れが発生し、冷却水量を抑えて運転を継続していたが、燃焼悪化のため、焼却炉を立ち下げた。
3	1号炉	休炉	H29.4.6	15:22	H29.4.7	16:40	H29.4.12	15:36	H29.4.13	12:04	1号焼却炉ストーカ下コンベヤBシュートの灰詰まりが発生した。運転継続困難なため、1号焼却炉を立ち下げた。

多摩川清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
31	1号炉	休炉	H29.9.13	10:00	H29.9.30	2:00	H29.10.3	18:29	H29.10.4	7:31	1号ボイラドラム給水調節弁出口逆止弁のプラグより水漏れが発生した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
28	2号炉	休炉	H29.9.11	10:00	H29.9.17	0:00	H29.9.19	18:28	H29.9.20	7:25	2号ボイラ給水ポンプA号機のバランスフロー配管のエルボ溶接部にピンホールができて水漏れが発生した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
25	2号炉	休炉	H29.9.1	14:17	H29.9.1	18:42	H29.9.8	17:35	H29.9.9	10:02	落じんコンベヤ(1)の従動側(テークアップユニット)のシャフトが破断していることが判明。灰の搬出が出来ず、焼却継続困難のため、焼却炉を立ち下げた。
16	1号炉	休炉	H29.7.1	14:00	H29.7.22	0:00	H29.7.25	21:01	H29.7.25	11:16	1号ボイラ給水ポンプBのミニマムフロー逆止弁のボディにピンホールができて水漏れが発生した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。

23区清掃工場 故障による休炉・停止など 平成29年度(工場別)

足立清掃工場 <休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
26	2号炉	休炉	H29.9.9	15:15	H29.9.9	17:00	H29.9.21	22:03	H29.9.22	16:01	煙突Hg計装置一括故障によりHgの濃度がDCSに出力されなくなった。調査のため焼却炉を立ち下げた。
22	ごみクレ	停止	H29.8.15	16:41					H29.8.29	11:00	自動運転時にNo.2ごみクレーンバケットが傾き、パンカ壁とバケットに給電ケーブルが挟まり断線した。断線によりバケットの開閉ができないため、No.2ごみクレーンを停止した。

品川清掃工場 <休炉 2 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
41	1号炉	休炉	H29.11.22	2:53	H29.11.22	3:43	H29.11.23	17:25	H29.11.24	19:05	自動燃焼中に集じん器出口ダンパ規定開以下の警報が発報したため、調査のため立ち下げを行った。
40	ごみクレ	停止	H29.11.21	14:00					H29.12.20	16:00	No.2ごみクレーンを巻き上げる際にインバータトリップが頻発し、運転が出来ない状態になった為、クレーン使用を停止した。
32	2号炉	休炉	H29.10.1	18:09	H29.10.2	15:00	H29.10.4	18:25	H29.10.5	15:07	減温塔のロータリスクレーパで不具合が発生し、灰の搬出が出来なくなった。調査及び補修のため、焼却炉を立ち下げた。

葛飾清掃工場 <休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
27	2号炉	休炉	H29.9.10	18:37	H29.9.10	20:50	H29.9.25	19:50	H29.9.26	11:16	第1ボイラダストコンベヤの機器異常(ショックリレー動作)が発報したため、現場でコンベヤの正逆転を実施したが復旧できなかった。灰の搬送が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。

世田谷清掃工場 <休炉 9 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
60	1号炉	休炉	H30.2.12	12:45	H30.2.14	13:34	H30.3.1	20:45	H30.3.2	11:00	燃焼熔融炉流下口下シュート部にスラグが堆積したため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
56	2号炉	休炉	H30.1.22	18:34	H30.1.24	10:16	H30.2.22	18:38	H30.2.23	9:45	ガス化流動層より砂が抜き出せなくなった。運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
54	2号炉	休炉	H30.1.9	6:30	H30.1.9	8:50	H30.1.10	19:50	H30.1.11	7:57	破碎ごみ供給装置スクリュウ軸に破碎ごみが巻き付き、ごみ供給ができなくなった。運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
49	1号炉	休炉	H29.12.22	23:50	H29.12.23	10:13	H29.12.29	17:34	H29.12.30	7:35	燃焼熔融炉流下口下シュート部にスラグが堆積したため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。

23区清掃工場 故障による休炉・停止など 平成29年度(工場別)

世田谷清掃工場

44	1号炉	休炉	H29.12.8	5:00	H29.12.8	11:01	H29.12.20	22:40	H29.12.21	11:03	燃焼熔融炉流下口下シュート部にスラグが堆積したため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
37	1号炉	休炉	H29.10.22	12:13	H29.10.22	22:11	H29.11.1	0:54	H29.11.1	14:26	砂分級装置のルーバーが外れ分級ができなくなり、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
23	2号炉	休炉	H29.8.18	17:05	H29.8.19	19:12	H29.10.12	22:45	H29.10.13	15:42	アルミ選別機搬送ベルトの破断により、不燃物が搬送できず搬送C/V落ちロシュートが閉塞、焼却継続が困難と判断し炉を立ち下げた。
13	1号炉	休炉	H29.6.3	6:18	H29.6.10	10:00	H29.6.16	23:59	H29.6.17	12:50	ガス化炉ごみ供給設備である解砕機の電流値が上昇し、安定的なごみ供給ができず、焼却継続が困難と判断し炉を立ち下げた。
1	2号炉	休炉	H29.4.1	8:30	H29.4.4	19:07	H29.4.6	22:50	H29.4.7	11:03	砂循環エレベータ集じん器の故障により、砂循環エレベータの負圧が維持できなくなり、焼却継続が困難と判断し炉を立ち下げた。

大田清掃工場 <休炉 4 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
59	1号炉	休炉	H30.2.8	11:00	H30.2.8	11:33	H30.2.20	16:10	H30.2.21	6:34	過熱低減器の保温部よりドレン漏れを発見したため、調査補修のため、焼却炉を立ち下げた。
39	ごみクレーン	停止	H29.11.11	10:45					H29.11.18	17:00	No. 1ごみクレーン重故障、開閉装置異常(インバータ)出力過電流の警報が発報し、バケットの開閉ができなくなった。原因調査のため、ごみクレーンを停止した。
24	2号炉	休炉	H29.8.9	16:43	H29.8.19	18:03	H29.8.23	17:15	H29.8.24	7:44	巡視中、蒸気式空気予熱器周辺で異音を確認し、DCSでも蒸気式空気予熱器蒸気流量の急激な上昇と上限警報を確認した。蒸気式空気予熱器内部の蒸気漏れが疑われるため、調査のため、焼却炉を立ち下げた。
17	1号炉	休炉	H29.7.20	8:20	H29.7.24	18:01	H29.7.27	15:11	H29.7.28	6:09	蒸気式空気予熱器出口温度及び蒸気流量が通常より上昇していたため、調査を実施したところ、蒸気式空気予熱器の内部で異音がしていた。蒸気漏れが疑われるため、調査のため、焼却炉を立ち下げた。
12	1号炉	休炉	H29.5.19	13:15	H29.6.6	18:01	H29.6.9	14:01	H29.6.10	5:18	押込ファンに振動があり、振動測定を行ったところ、測定値が管理値を超過していた。インペラへのダスト付着によるアンバランスが振動値高の原因と推定される。調査、補修のため焼却炉を立ち下げた。

練馬清掃工場 <休炉 1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
4	1号炉	休炉	H29.4.14	2:24	H29.4.14	3:24	H29.4.17	15:15	H29.4.18	11:48	1号No.3灰コンベヤのスクレーパが脱落し、コンベヤのリンクプレートがはずれてコンベヤチェーンが切断した。主灰の搬送が出来なくなったため焼却炉を立ち下げた。

23区清掃工場 故障による休炉・停止など 平成29年度(工場別)

杉並清掃工場 <休炉 3 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
51	1号炉	休炉	H29.12.28	23:58	H29.12.29	4:14	H30.1.9	17:09	H30.1.10	15:15	投入ごみにより、ごみホツパが閉塞した。解除を試みたが効果が見られないため、焼却炉を立ち下げた。
45	2号炉	休炉	H29.12.13	8:30	H29.12.13	17:00	H29.12.19	14:09	H29.12.20	11:57	灰押し装置の閉塞により主灰を排出できなくなったため、2号炉を立ち下げた。
35	1号炉	休炉	H29.10.13	12:00	H29.10.13	13:03	H29.10.20	17:12	H29.10.21	14:29	灰押し装置の閉塞により、主灰を搬出できなくなったため、焼却炉を立ち下げた。

灰溶融炉(多摩川・葛飾)故障による休炉等なし